

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので12月定例会では19名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会で事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、2月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

公文書管理について

公文書管理について、次の質問が行われました。

質問：公文書には読みやすさ、分かりやすさが求められており、使われ方も時代によって変わる。市の公文書作成規程もそれに合わせ見直す必要があると考えるがいかがか。

総務部長：文章や用語は時代と共に変遷しており、公文書作成規程も市民にとって分かりやすいものになるよう、見直しを図るべきと考えている。

質問：企業活動拠点整備事業における選定委員会の会議録を情報公開請求したところ、会議録は作成されていなかった。選定の過程が分かるように会議録を作成すべきと考えるがいかがか。

同部長：平成27年3月に策定した行政文書の作成に関する指針では、審議会等の会議の記録を残すことを明記している。また、審議会等に関する指針においても、会議終了後、会議録を速やかに作成することとしているため、事業者の選定などの場合は、選定過程の透明

の時間が必要なのか。

同部長：今年度実施した歴史的公文書調査結果による移管対象の書類の確認・抽出作業は、おおむね2年程度の時間を要すると見込んでいる。

質問：公文書管理と情報公開は車の両輪であり、公文書

乳幼児・子育て支援について

本市における乳幼児・子育て支援について、次の視点から質問が行われました。

【乳幼児健診について】

質問：子供の成長・発達を確保するために会議録を作成することが望ましいと考える。文書作成指針の根本的な目的が市民に対する説明責任を果たすことにあるため、職員に周知徹底していきたい。

質問：行政文書の作成に関する指針は本市の業務遂行において共有されているのか。

同部長：平成28年11月に実施した職員アンケートでは、指針を把握している職員は46%にとどまった。指針が末端まで伝わるような体制づくりが課題と捉えている。

質問：文書管理システム導入前の永年保存文書の整理・保存はどのような状況か。

同部長：保存期間30年の長期保存文書約2千箱の確認調査を行った結果、約500箱分が歴史的公文書への移管対象としてさらに選別が必要であることが判明した。保存状態が良くない文書については、教育委員会と連携して行う歴史的公文書の抽出作業を終えた後に修復を進める予定である。

質問：抽出作業等、公文書を整理するには、どのくらいの

管理条例を持つということ

は、公開を前提とした行政運営を行うことを意味する。特に政策決定と公文書管理の在り方は直結しており、本市にとって非常に大切なことだと考えるがいかがか。

市長：公開を前提とした行政

て実施費用を補助する考えはあるのか。

市長：子育て、出産のしやすい環境づくりというのは重要だと考えている。スクリーニング検査の費用の補助については、他市の状況等を踏まえ、今後の検討課題としたい。

【子育て支援の拡大について】

質問：子育て支援の拡大の施策として、フィンランド発祥のネウボラについて、本市はどのように捉えているのか。

健康福祉部長：ネウボラは、保健師や助産師がコディネーターとなり、妊娠から出産、育児まで対象者に寄り添った支援をしていく取り組みである。地域や医療機関と連携したサポート体制づくりのほか、幅広い情報提供等を行うものと考えている。

質問：子育て支援について、本市の取り組み状況を聞きたい。

同部長：任意の検査ではあるが、本市では約9割の新生児が実施しており、費用については、市内の病院で、7、8千円で行っていると聞いている。

質問：スクリーニング検査によって、千人に1人か2人、聴覚障害が発見されるとい

運営を行うということとは、非常に重要と考えている。

公文書管理条例の制定については、現在課題となっている長期保存文書から歴史的公文書を選別する作業を終わらせた後に検討を進めていきたい。

は、今後、コディネーターの存在が不可欠になると考えている。

質問：国が進める子育て世代包括支援センターの設置について、本市はどのように考えているのか。

同部長：まず、コディネーターの配置による母子保健相談、また、産後ケア事業等の取り組みが必要であると考えており、現在策定作業中の、第3期基本計画後期実施計画の中で検討している。その上で、拠点となるセンターの設置については、先行事例や他市の状況等を踏まえて検討していきたい。

質問：子育てしている立場から見ると、出産、子育てに関する窓口は一元化すべきだと考えている。一元化により、さらなる子育て支援体制の強化をしていくべきと考えるがいかがか。

経営企画部長：本市における子育て支援については、母子保健の観点や子供の養育という観点からさまざまな課が連携を図りながら、子供の年齢や状況に応じた施策を実施している。

今後、本市の実情や子育て支援に関わる課の意見等を聴取しながら、必要に応じて組織の見直しを検討していきたい。

一般質問項目一覧

①河村琢磨（みんな）

- 1 つながる社会、創造する未来について

②永田磨梨奈（鎌夢会）

- 1 女性活躍推進について
- 2 企業立地支援について
- 3 オープンデータについて
- 4 市民協働について
- 5 地域の安心・安全について

③上畠寛弘（公正）

- 1 子育て支援の拡大、鎌倉版ネウボラの実現
- 2 農業振興と人材確保
- 3 社会福祉法人ラファエル会の実態と浄化
- 4 鎌倉市の教育の在り方
- 5 市長の政治姿勢と腐敗・癒着・墮落
- 6 公正な選挙と若年世代の政治参加

④渡邊昌一郎（無所属）

- 1 コンプライアンス推進参与の効果検証について
- 2 官民連携について
- 3 オリンピック（セーリング）の事前準備について

- ・ユニバーサルデザインツアーについて
- ・腰越漁港の改修とヘリテイジについて
- ・空き家対策と民泊について

4 契約事務等について

- ・関係書類の公開範囲について
- ・契約会社と議員の関係について
- ・契約書の訂正と追加について（契約変更等）
- ・ICレコーダーの録音について

⑤前川綾子（鎌倉みらい）

- 1 防災について
 - ・学校の防災
 - ・津波対策
 - ・アプリの活用
- ・緑保全のしくみづくり

⑥保坂令子（神奈川ネット鎌倉）

- 1 空き家対策について
- 2 一人暮らし高齢者調査について
- 3 まち・ひと・しごと創生について
- 4 公文書管理条例について

⑦吉岡和江（日本共産党）

- 1 安心して住み続けられる鎌倉をめざして 市民アンケートから
 - ・樹林管理、道路改善、介護、子育て支援、健康づくり等
- 2 深沢まちづくりと新駅について

⑧松中健治（無所属）

- 1 災害時の避難場所とライフライン
 - 広場・下水道・トイレ・燃料・水道・避難場所（土地）仮設住宅用・食料
- 2 憲法について

⑨久坂くにえ（みんな）

- 1 高齢者の運転事故防止について
- 2 ダブルケアを中心とした子育て支援について

⑩岡田和則（無所属）

- 1 債権管理課の実績（過去・現在）、課題、今後の見通し
- 2 ふるさと寄附金推進について
- 3 ポケモンGOとまちづくり
- 4 市長の政治姿勢について

⑪高橋浩司（鎌夢会）

- 1 行財政改革について

⑫赤松正博（日本共産党）

- 1 子どもの貧困対策について
- 2 文化財保護行政について

⑬西岡幸子（公明党）

- 1 乳幼児健診の充実と発達障害の早期発見・支援について
- 2 鎌倉山1丁目及び苗田3丁目地区における違反造成問題について

⑭大石和久（公明党）

- 1 岡本二丁目用地施設整備基本計画について

⑮納所輝次（公明党）

- 1 深沢地域整備事業について
- 2 鎌倉市地域防災計画について
 - ・災害発生時における避難所運営について

⑯千一（無所属）

- 1 電柱の地中化と危ない歩道について
- 2 鎌倉市内の鉄道の駅でまだバリアフリーになっていない駅について
- 3 虐待・いじめから痛ましい事故について
- 4 図書館運営と人件費について

⑰竹田ゆかり（無所属）

- 1 教育環境条件整備について
- 2 公文書作成規程について
- 3 図書館の運営体制について
- 4 社会福祉協議会の今後のあり方について

⑱山田直人（鎌倉みらい）

- 1 環境関連諸計画とまちづくりについて
- 2 いきいき健康のまちづくりについて

⑲渡辺隆（みんな）

- 1 交通政策について
 - ①ロードプライシング
 - ②パーク＆ライド
 - ③電線の地中化
 - ④村岡新駅
 - ⑤観光客の分散化